



美術館だより

TEL (63) 7788

華麗なる夢を描いた

宮永岳彦展

6月1日(木)～7月24日(月)



「鴻」

華麗な女性像で知られる宮永画伯は、油彩画を中心に様々な分野で活躍しました。キャリアのスタートとなったのは、松坂屋百貨店宣伝部での勤務です。デザイナーとしてポスターや包装紙のデザイン、ウィンドディスプレイなどを手掛けました。そこで注目される作品を生み出し、小田急電鉄や全日空、ぺんてるなど企業のポスターや雑誌の表紙画、挿絵、本の装丁など活動の幅を広げていきます。それは「太陽の昇らぬ日はあつても、宮永のポスターを見ない日はない」と評されるほどの活躍でした。かたわらで、実家のある秦野市のアトリ



「ムラサキの女」

エで油彩画の創作活動を続け、23歳のときに二科展に初入選します。二紀会創立後は同会を中心に作品を発表し、活動の基軸を次第に油彩画に移していきました。「宮永美人画」と称される光と影の華麗な画風で独自の世界を確立した宮永画伯。その幅広いジャンルと作風を、油彩画、水墨画、表紙原画、ポスターなどを展覧します。

協力 秦野市立宮永岳彦記念美術館

～美術の話を聞きに来ませんか～ ギャラリートーク

【日時】6月13日(火) 午後2時～
6月18日(日) 午前10時～
【場所】湯河原ゆかりの美術館 展示室
【テーマ】宮永岳彦展作品解説
【講師】当館学芸員
【参加費】無料
(ただし入館料が必要です)

入館料 円

| | | |
|------|-----|-----|
| 小中学生 | 大人 | 一般 |
| 300 | 600 | 割引券 |
| 200 | 500 | 町民 |
| 200 | 400 | |

休館日 毎週水曜日

開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)

町民の方は受付で町民証の提示をお願いします。

毎月第3日曜日の家庭の日は、町民の方は入館無料です。

一喜一憂

「一年の過ぎる速さは、生きてきた長さに比例する」。少しオーバーですが、人生の峠を越えると、一年が過ぎ去るのがますます早くなります。

社会的、家庭的な責任という煩わしい課題を背負った中年や実年に達した人たちは、こうした自分の時間を取り崩しながら生きていく。一日一日が年々凝縮され、大切になってくるものです。一日を大切にすることは、一時間、一分を無駄なく有効に使わなければなりません。

年齢や貧富を問わず、一日は誰にも平等に二十四時間あります。一日を二十四時間に使っていないのは、なかなか時間の余裕ができないため、就寝前の一時間、翌日すべきことのメモをつくり、明日の二十四時間に一時間を加えて二十五時間として使つと、心にゆとりができるかと教えられました。ゆとりは、自分自身のもの、人間らしく生きるための貴重な時間です。

その昔、義父が一日の仕事を終えた後、必ず弟子に翌日使う道具の手入れをさせていたのを覚えています。弟子が明日の準備をしている間、義父は、仕事の段取りをしていたのだと思います。段取りは、親方の大事な仕事であり、翌日を有効に使う手段であったと思います。

六月十日は、「時の記念日」です。人生の峠の半ばにあつても、自分の時間の使い方について点検してみることが必要ではないでしょうか。

時間の表現には、あいまいな言葉が多くあります。

その一つ、「ちょっと出かけてきま

す」というと、「ごく自然に「わかりました」と答えてしまいます。ところが、何時に帰ってくるのかとなると、はっきりしません。ここには、自ずからいわけでもない。そこには、常識的な時間があります。ちょっと出かけてくるといつて、二年も帰らなかつたとは、落語の中の話です。

ちょっとした時間の長さは、女性ではほとんどが三十分まで、男性では三十分から一時間以内だそうす。夕方という表現も漠然としています。六時過ぎとは、六時何分過ぎなのか。もつと出かけるのもうすぐなど、その時の繁閑の状況やその人の立場、性格、職業によっても違つてきます。

数十年前になりましたが、銀行や役場の窓口で、「少々お待ちください」と言われた時、待たされる側は、「少々」を何分くらいに思っているのかの意識調査がありました。旧人類は七分で、新人類では五分だったと記憶しています。

当時の新人類と言えば、所得倍増論が池田内閣によって発表され、経済大國に向かつて走り始めそれとともに育つた若者たちでした。日本人は働きすぎと言われ、休日が増えたのもその頃でした。せかせか時間に追われて働かされた時代だったと思います。

モノと金があふれる現代、不足しているのは、心豊かなゆつたりとした時間の流れです。

「まちおこし」という動きがはやっていますが、埋もれている「時間おこし」を自分の中に取り入れ、余暇を楽しむことも必要です。「時は金なり」。

町長

米岡幸男

